

受講申込書

<日時・会場>

日程	時間・会場	テーマ
2/14(火)	13:00~17:00	経営者・経営幹部必見！ 収益改善のための原価計算・原価管理 ～基礎編～
3/13(火)	OKB Harmony Plaza 名駅 (名古屋市中村区名駅 4-6-17 名古屋ビルディング 10階)	経営者・経営幹部必見！ 収益改善のための原価計算・原価管理 ～実践編～

<お申込内容>

<input type="checkbox"/> 会員 No. _____ <input type="checkbox"/> パスポート会員 <input type="checkbox"/> 一般		私(申込責任者)は下記【個人情報の取扱に関する重要事項】を私と各参加者が確認し、承諾したうえで申し込みます。 <input type="checkbox"/> 申込責任者名			
貴社名					
ご住所					
TEL	()	お取引店	支店出張所	受講券は、申込責任者様宛にご送付いたします。	
参加者希望日 参加希望日に☑をお付けください	お名前	役職※1 (在職年数)	年齢※1	2/14(火)	3/13(火)
	()	() 年	歳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	()	() 年	歳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	()	() 年	歳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※1 参加者属性に合わせたセミナーの内容とするために利用いたします。可能な範囲でご記入ください。

<受講料のお支払い方法>

【共立ビジネスクラブ会員様】会費の引落し口座にご請求させていただきます。

※ お振込みをご希望の会員様のみ右欄に☑をお付け願います。後日、振込用紙を送付します。
【一般の方】お振込みのみとなります。後日、振込用紙を送付します。振込手数料はご負担願います。

■個人情報の取扱に関する重要事項

1. (名称) 株式会社共立総合研究所 (連絡先) TEL / 0584-74-2193 2. ご記入いただきました個人情報は、株式会社共立総合研究所の「個人情報保護方針」(http://www.okb-kri.jp/policy.html) および「個人情報の取り扱いについて」(http://www.okb-kri.jp/public.html) に従い適切に取り扱います。3. (個人情報の利用目的) セミナーに関する申込の受付とその業務の運営管理のために利用いたします。4. お客様が本申込みに必要な記載事項の記載を希望しない場合、および本重要事項の内容の全部、または一部を承諾していただけない場合、本申込をお断りすることがあります。

経営者・経営幹部必見！ 収益改善のための原価計算・原価管理

～読めない時代を勝ち残るノウハウ～

製品別など個別の損益や原価のしくみが分かれば、効率的なコストダウンやポイントを絞った価格交渉などが可能となり、ワンランク上の経営や営業が実現できます。ところが、「どれが儲かる製品なのか分からない」「注文に応えるだけでは利益が出なくなってきた」「価格引下げ要請にどの程度まで対応して良いものか？」といった悩みを持つ方は少なくありません。

本セミナーでは、個別損益の把握や収益性改善に活用できる「原価計算と原価管理」について、基礎知識から分かりやすくお伝えします。原価管理ができるようになれば、収益性改善だけでなくさまざまな経営戦略や管理を、数値根拠に基づいて考えられるようになります。一回目の基礎編では、原価計算、原価管理の必要性と有効性を紹介し、二回目の実践編では、原価計算の精度を高める方法や、個別損益の具体的な活用方法を説明します。二回のセミナーを通じて、自社での「成果に結びつく」展開を図っていただきます。

対象 (I・II共通)	以下のことがあてはまる経営者・経営幹部の方 ・収益性の改善策を具体化したい ・原価計算を基礎から学び、さらに自社への展開を図りたい ・コストダウンにつながる原価管理体制を自社に構築したい		
日会 時場	I	H24年 2月 14日(火)	
	II	3月 13日(火)	
各回共通	時間：13:00～17:00 会場：OKB Harmony Plaza 名駅 (名古屋市中村区名駅 4-6-17名古屋ビルディング10階)		
受講料 (1名様 税込料金)	会員	選択受講	各 5,000円
	一般	すべて受講 (全2回)	各 15,000円
定員	各 54名		定員になり次第締切らせていただきます。 お申込み状況によっては、開催を見送ることがあります。

お申込み手続き

「受講申込書」に必要事項をご記入のうえ、FAXにてお申込みください。
開催日 1週間前を目途に受講券をお送りいたします。

受講料のお支払い

開催日以降の約定日に、会費の引落し口座より引落しいたします。
「すべて受講」を希望された場合、1回目の開催日以降の約定日に、まとめて引落しいたします。

【銀行振込みの場合】

後日、振込依頼書をお送りいたしますので、開催日の前日までに振込みください。なお、振込手数料はご負担願います。

※一般の方は銀行振込となります。

キャンセルの受付

キャンセルの場合は、開催日の前営業日までにご連絡ください。ご連絡のない場合は、受講料は頂戴いたしますのでご了承ください。

「すべて受講」の場合は、1回目の開催前のみキャンセルが可能となります。2回目の講座をご欠席された場合のご返金はいたしかねます。

<連絡先> ☎0120-39-5505
平日(祝日を除く)9:00～17:00

お申込み
お問合わせ

株式会社 共立総合研究所

共立ビジネスクラブ事務局
[担当] 久保田・中島

☎ 0120-39-5505 FAX 0584-74-2688 [平日(祝日を除く) 9:00～17:00]

I 2/14 経営者・経営幹部必見！ 収益改善のための原価計算・原価管理 (火) ~基礎編~

講師 水野 浩里

1 はじめに

個別損益（製品別、顧客別など）を把握してワンランク上の経営や営業をめざす

2 損益計算書を分ける

- (1) 損益計算書を分けることが、今以上に利益をあげるための出発点
- (2) 売上が多い得意先は重要な得意先？

3 製品別に損益を計算する その1 ~製品別変動費と限界利益~

- (1) 計算は無理せずできることから
- (2) 押さえておきたい「限界利益」
- (3) 製品別に変動費と限界利益を計算する
- (4) 限界利益に基づいて収益性を改善する

4 製品別に損益を計算する その2 ~製品別加工費と粗利益~

- (1) 社内にかかる費用（加工費）を製品別に分けないと、本当の製品別損益は見えない
- (2) 加工費を製品別に分けるために必要な「チャージ」
- (3) チャージの計算方法
 - ①加工費を集計し、グループ単位に分ける
 - ②グループの分け方と賦課・配賦
 - ③グループ別に加工時間を集計する
 - ④グループ別にチャージを計算する
 - ⑤チャージは定期的に見直す
- (4) 製品別に加工費と粗利益を計算する
- (5) 粗利益に基づいて収益性を改善する

5 財務体質改善の基礎知識

- (1) 自己資本比率から考える財務体質改善
- (2) 総資産改善と収益性改善の関係
- (3) 総資産改善とキャッシュフロー改善の関係
- (4) 改善の具体策
 - ①売掛金の改善
 - ②棚卸資産の改善
 - ③固定資産（投資）の改善

6 事例検討（グループワーク）

個別に損益を把握し、収益性改善策を具体的に検討する

本セミナーでは、事例検討、グループワークなどを適宜実施します。

講師 Profile

株式会社 共立総合研究所 経営コンサルティング部

中小企業診断士 水野 浩里

1975年愛知県春日井市生まれ、1998年名古屋市立大学経済学部卒業後、大垣共立銀行入行。コンサルティング会社での研修を経て、2005年に共立総合研究所へ出向。『決算書の読み方』『財務管理』『組織活性化』『課題解決』など、銀行業務や経営コンサルティングでの経験を活かしたテーマを得意とする。「丁寧さ」「分かりやすさ」を重視した講義が好評。



II 3/13 経営者・経営幹部必見！ 収益改善のための原価計算・原価管理 (火) ~実践編~

講師 鈴木 淳氏

1 見積書と原価計算の関係

- (1) 自社コストが高いからといって、高い見積りが通るわけがない
- (2) 設計変更等の対応は？
- (3) ロット単位の変更は？
- (4) 操業度のバラツキは？
- (5) 「お断り見積り」を出す判断の根拠は？
- (6) 現在の製造コストは過去の見積り時のままか？

コラム1. なぜ「原価計算」は現場では煙たがられるのか？

2 原価管理とコストダウンの結びつけ方

- (1) 現場の状況を作業日報から把握する
- (2) メスの入れどころを発見する
- (3) 優先順位をつけてコストダウンを図る

コラム2. 仕事が減っても時間の余裕は増えない

3 やりかけると分かる原価計算の落とし穴

- (1) 販管費と原価の区分は合っているか？
- (2) 存在しない資産の減価償却費は無いのか？
- (3) 決算書を根拠に計算して「大損」していないか？

4 利益確保に必要な「特殊原価調査」

- (1) まずは工程を洗い直す
- (2) 見積時の工数を再確認する
- (3) 追加工程や増加工数を実測する
- (4) 工程改善のポイントをつかむ
- (5) 改善でコストダウンを実践する

コラム3. 工程管理をしても利益が増えないジレンマ

5 原価計算の実務

- (1) 棚卸に基づく原材料費計上方法の適正化
- (2) 原材料「受払」の制度づくり
- (3) 決算書および勘定科目からの費用区分適正化
- (4) 費用配賦基準の確認と改訂
- (5) 工場別損益、部署別損益の算定
- (6) 製品別作業時間および機械稼働時間採取の具体化
- (7) 労務費と作業時間からのマンチャージ算定
- (8) 製造経費と機械稼働時間からのマシンチャージ算定
- (9) 製品別加工時間の採取
- (10) 製品別損益の算定
- (11) 製品別利益貢献度の把握
- (12) 数値に基づく検討会議の実施

コラム4. なぜ元請会社は親切に指導してくれるのか？

6 利益貢献度分析と商品・市場マトリクス

- (1) 何が、誰が、何処が利益に貢献しているのか？
- (2) そもそも自社の実状が分かっているのか？
- (3) 顧客別貢献度分析
- (4) 商品・製品別貢献度分析

7 実務事例に基づく分析の紹介

実際の企業における原価計算と、その結果としての利益貢献度分析に至る流れを紹介

講師 Profile

経営コンサルタント・中小企業診断士 鈴木 淳氏

大阪生まれ 明治大学政治経済学部卒業。
中堅中小企業の経営指導を主体とする経営コンサルタント。個別の事情に応じた経営指導を行い、公的団体、上場企業等での講演も多数。
カリフォルニア州立大学エクステンションコース(会計、監査、税務、法務)修了。(財)あいち産業振興機構派遣専門家、名古屋商工会議所エキスパート、名古屋商工会議所経営革新支援アドバイザー、中小企業大学校瀬戸校人材育成支援アドバイザー(H16-H18)

